

2022年2月10日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ア イ ・ テ ッ ク
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 大 畑 大 輔
 (コード：9964・JASDAQ)
 問 合 せ 先 常 務 取 締 役 管 理 本 部 長 伏 見 好 史
 (TEL 054-337-2001)

通期業績予想および期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2021年11月11日に公表しました2022年3月期通期業績予想および2021年5月13日に公表しました期末配当予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2022年3月期通期連結業績予想数値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	74,000	4,900	5,000	3,240	390.13
今回修正予想(B)	74,000	6,000	6,100	3,870	471.04
増減額(B-A)	—	1,100	1,100	630	
増減率(%)	—	22.4	22.0	19.4	
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	67,785	1,709	1,830	1,158	127.30

(2) 2022年3月期通期個別業績予想数値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	72,000	4,000	2,550	307.05
今回修正予想(B)	72,000	5,350	3,450	419.92
増減額(B-A)	—	1,350	900	
増減率(%)	—	33.8	35.3	
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	65,600	1,111	736	80.97

(3) 修正の理由

当第3四半期連結累計期間におきましては、鋼材の販売・加工事業については、世界的な鉄源不足を背景に一昨年12月にスクラップ価格が急騰し、国内電炉メーカーは大幅な製品価格の値上げを発表いたしました。また、鉄鉱石や石炭等の資源価格も上昇していることから、国内高炉メーカーも追随するかたちとなりました。その後も、世界的に旺盛な鉄の需要からスクラップや資源価格は月を追うごとに値上がりを行いました。更に国内においては自動車産業の回復に加え、低燃費船舶の需要増加から造船業も急回復しており、限られた鉄源の配分から、建材向け製品への供給量は大幅に削減されております。このような状況から、出荷量は伸び悩んだものの、鋼材価格は急速な上昇となりました。これらの結果、鋼材の価格上昇により売上額が増加した事に加えて、ピークアウトすると想定していた鋼材市況は高値安定しており、メーカーの値上げ後の仕入による在庫簿価の上昇も想定より緩やかだった事から収益率も維持する事が出来ました。これらから、当第3四半期連結累計期間の業績及び足元の鋼材市況や需給状況等を勘案し通期の業績予想を修正いたします。鋼材市況は徐々に落ち着きを取り戻しており、鋼材の販売・加工事業及び鉄骨工事請負事業共に概ね堅調に推移するものと予想されます。中国経済の変調の兆しに加え、国内鋼材市況はかなりの高値圏にある事から、動向を注意深く見守って参ります。

なお、個別業績予想の修正理由につきましても同様であります。

2. 期末配当予想の修正について

(1) 期末配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2021年5月13日発表)	円 銭	円 銭	円 銭
		20.00	40.00
今回修正予想		50.00	70.00
当期実績	20.00		
前期実績 (2021年3月期)	15.00	15.00	30.00

(2) 修正の理由

当社は、株主に対し業績に応じた利益還元を行うことを経営の最重要目標のひとつとして位置づけ、企業体質の強化及び将来の事業展開に備えるための内部留保の充実と合わせ勘案し、配当を行うことを基本方針としております。

当期の期末配当につきましては、1株当たり20円としておりましたが、通期業績予想の修正を踏まえ、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益共に過去最高益が予想される事なども踏まえ、1株当たり50円の配当とさせて頂く予定であります。

(注) 上記の業績予想及び配当予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上